

## 諏訪地域(岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村)

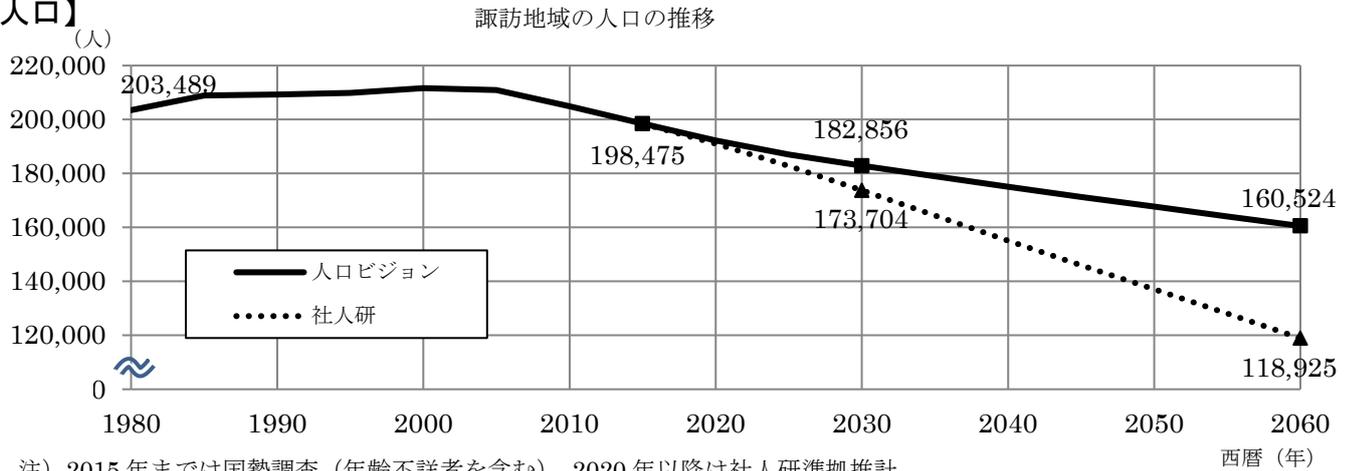
### 諏訪地域の特性

- ・先端技術を誇る製造業、特色ある農業など競争力のある産業が集積しています。
- ・諏訪湖・八ヶ岳等の自然環境、諏訪大社御柱祭・縄文等の歴史文化を有しています。
- ・中央自動車道、J R中央本線等、交通の大動脈の結節点となっています。

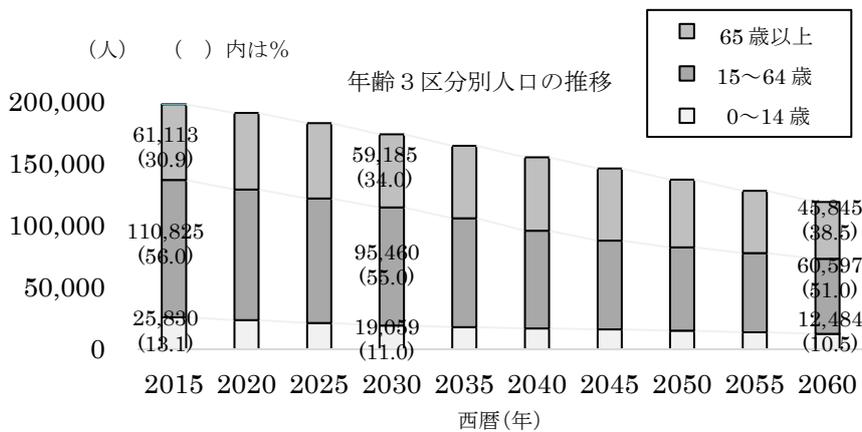
### 【管内の概況】



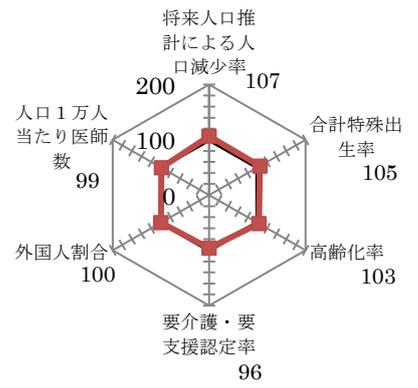
【人口】



注) 2015年までは国勢調査(年齢不詳者を含む)、2020年以降は社人研準拠推計及び市町村人口ビジョン(地方創生総合戦略)。

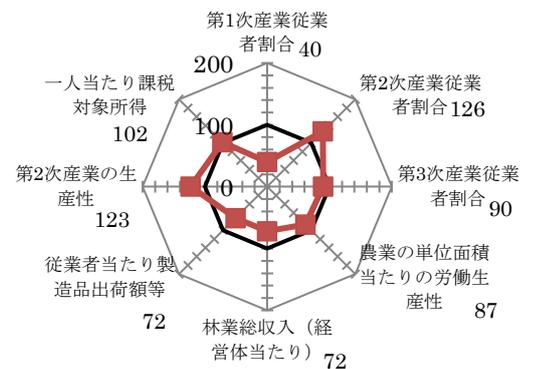
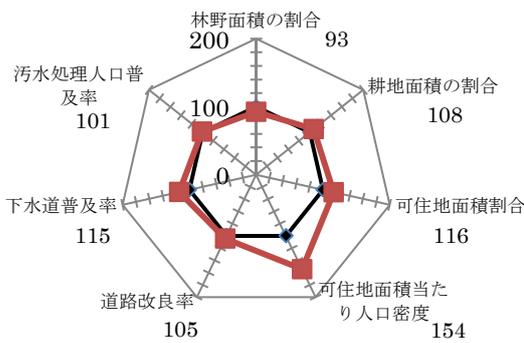


注) 2015年は国勢調査、2020年以降は社人研準拠推計



注) 各指標は長野県全体を100として諏訪地域と比較(指数)

【地勢・産業】



注) 各指標は長野県全体を100として諏訪地域と比較(指数)

2060年の諏訪地域の人口は、社人研準拠推計によると、2015年の59.9%となることが見込まれており、県全体(61.2%)とほぼ同じ水準となっています。一方、管内市町村人口ビジョンの総計では、県全体(76.8%)を上回る80.9%と試算されています。

諏訪地域の地勢は、可住地面積当たり人口密度や下水道普及率が県全体を大きく上回るなど、諏訪盆地の地形を活かしたコンパクトなまちづくりが特色となっています。

産業面では、第2次産業従事者の割合や第2次産業の生産性が高いことが特色であり、諏訪地域が県を代表するものづくりの集積地で高いポテンシャルを有していることを示しています。

## 地域のめざす姿

### 諏訪湖や八ヶ岳が育む「豊かな自然」と地域の強みを活かした「競争力のある産業」が共存する地域の実現

- ・諏訪湖や八ヶ岳が育む豊かな自然の恵みを誰もが享受しています。
- ・技術集積に培われた「ものづくり」、八ヶ岳山麓の冷涼な気候を活かした「高原野菜・花き」など、地域の強みを活かした競争力のある産業が生活を支えています。
- ・豊かな自然と競争力のある産業の共存により、人々が集い、歴史・文化に親しみ、健康な暮らしを楽しめる地域が実現しています。

## 地域重点政策



### 1 産業競争力の強化、地域を支える人材の確保・育成

地域の強みの共有・磨き上げに産学官一体で取り組み、ものづくりや農業などの産業競争力の強化や地域を支える人材の確保・育成を進めます。

#### 【現状と課題】

- ・諏訪地域は、長野県を代表するものづくりの集積地です。自動車関連等の受注が堅調に推移している一方、業種や取引先によって受注の格差が広がっている状況にあり、医療・ヘルスケア等成長分野への参入などの動きがあります。
- ・八ヶ岳山麓地域は、冷涼な気候を活かした高原野菜、花きの一大産地ですが、高齢化により生産者の減少や遊休農地の増加、温暖化による農産物の品質への影響が懸念されます。
- ・今後、更なる生産年齢人口の減少が見込まれる中、地域の産業を支える人材の確保・育成が大きな課題になっています。

#### 【取組内容】

##### ● 産業競争力の強化

- ・県・市町村・産業支援機関等が連携して開催する「諏訪圏工業メッセ」及び官民協働による諏訪地域の産業振興の拠点づくりを支援します。
- ・国際戦略総合特区\*の活用や、工業技術総合センター精密・電子・航空技術部門の技術相談等により、航空・宇宙、医療・ヘルスケア等の成長分野への参入を支援します。
- ・公立諏訪東京理科大学との連携によるAI\*、IoT\*等の応用研究と地域への普及を推進します。
- ・八ヶ岳山麓の冷涼な気候を活かした高品質で安定した農産物の生産による消費地から信頼される産地づくりを推進します。

##### ● 人材の確保・育成

- ・産業界、公立諏訪東京理科大学、信州大学諏訪圏サテライトキャンパス\*、岡谷技術専門学校等とが連携した教育・訓練・研修を推進します。
- ・市町村、諏訪圏移住相談センターとの連携による地域が求める人材の確保を推進します。

## 【達成目標】

指標名	現状	目標	備考
製造業の付加価値額 工業統計調査（経済産業省）	2,468 億円 (2015年)	2,590 億円 (2020年)	製造品出荷額等から内国消費税額等及び原材料使用額等を控除した額 [地域未来投資法の経済的効果目標を考慮し目標を設定]
農産物産出額等 (農政部調)	144 億円 (2015年)	144 億円 (2022年)	農業生産活動による最終生産物の総産出額 [近年の産地動向及び今後の振興策を考慮し目標を設定]



## 2 「諏訪湖を活かしたまちづくり」（諏訪湖創生ビジョン）の推進

諏訪湖の水環境保全や湖辺面活用・まちづくりを一体的に進めることにより、「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現をめざします。

## 【現状と課題】

- ・古来山紫水明と賛美され、満々と水を湛える諏訪湖は、現在も諏訪地域のシンボルとして親しまれていますが、以前から環境改善が課題となっています。
- ・諏訪湖の水質は緩やかな改善傾向にあり、全リン\*については環境基準を達成しました。しかし、COD\*、全窒素\*については未だ達成しておらず、ヒシの大量繁茂、貧酸素水域の拡大等が新たな問題となっています。
- ・水環境や生物多様性の保全に加え、健康・スポーツ、観光振興など、諏訪湖の湖辺面活用・まちづくりの観点からの取組に期待が寄せられています。
- ・湖周のごみは減少傾向にありますが、環境・景観への影響が大きいことから、継続した清掃・啓発活動が求められています。

## 【取組内容】

- 諏訪湖の水質・生態系の保全
  - ・関係団体や地元企業との連携によるヒシ除去・貧酸素対策を推進します。
  - ・「信州の環境にやさしい農産物認証」や「エコファーマー\*」などによる諏訪湖と共存する農業を推進します。
- 湖辺面活用・まちづくり
  - ・諏訪湖への流入河川河口部を中心とした治水・利水浚渫等の水辺整備を推進します。
  - ・「諏訪湖周サイクリングロード」の整備及びサイクリングを楽しめる環境づくりを推進します。
  - ・地元市町、民間企業との連携による湖辺面を活かした体験型観光や、健康づくりを推進します。
- 諏訪湖に関する学びの推進、研究体制の強化
  - ・博物館等とも連携し、住民や観光客が諏訪湖について学ぶ環境づくりを推進します。
  - ・自然体験等も含めた地域の子どもたちに対する効果的な環境教育の手法を検討します。
  - ・諏訪湖における調査研究体制を強化するため、諏訪湖環境研究センター（仮称）の設置を検討します。

## 【達成目標】

指標名		現状 (2016年)	目標 (2022年)	備考
諏訪湖の目標値 (第7期諏訪湖水質 保全計画)	COD*	75%値	5.6 mg/L	諏訪湖の水質改善を 図るための目標値 [第7期諏訪湖水質 保全計画をもとに設 定]
		(参考) 平均値	4.4 mg/L	
	全窒素*	0.88 mg/L	0.65 mg/L	
	全リン*	0.050 mg/L	現状水準の維持	
	透明度	1.2~1.3m	1.3m以上	



## 3 選ばれ続ける観光地域づくり

諏訪湖・八ヶ岳をはじめとする恵まれた自然環境や御柱祭・縄文などの歴史・文化を活かし、誰もが滞在を楽しめる観光地域づくりを進めます。

## 【現状と課題】

- ・上諏訪温泉・諏訪湖、霧ヶ峰高原など県内有数の観光地や多くの登山者が訪れる八ヶ岳等の山岳高原を有する諏訪地域は、首都圏等からのアクセスに恵まれていることから訪れやすい反面、日帰り客の割合が高くなっており、1人当たり観光消費額が県平均を下回っています。
- ・諏訪地域一体となったブランドの活用、集積する美術館・博物館の活用、ユニバーサルツーリズムの推進、ビーナスラインブランドの再構築など、観光資源の磨き上げを行うことにより、滞在・周遊・体験型の観光地域づくりを推進していくことが求められています。

## 【取組内容】

- ・諏訪地域一体となったブランドの発信力を強化するとともに地域DMOの構築を支援します。
- ・中部横断自動車道の開通等を見据え、山梨県北杜市をはじめとした圏域を越えた八ヶ岳等の山岳高原の魅力体験・交流を促進するとともに、縄文からの歴史・文化を活用した観光振興と外国人旅行者の誘致を推進します。
- ・トラベルサポーター\*を活用したユニバーサルツーリズムのモデルコース作成を支援します。
- ・佐久、上田、諏訪地域の市町、観光協会等で構成される「信州ビーナスライン連携協議会」が行う情報発信等の取組を支援します。
- ・高原野菜をはじめとした諏訪地域の特産品等を活かしたメニューの提供などの取組を支援します。

## 【達成目標】

指標名	現状	目標	備考
観光地延利用者数 観光地利用者統計調査 (観光部調)	1,470万人 (2016年)	1,500万人 (2022年)	管内観光地を訪れた日帰り客、宿泊客の延べ人数 [過去2回の御柱祭開催年の状況を考慮し目標を設定]

観光消費額 観光地利用者統計調査 (観光部調)	398 億円 (2016 年)	449 億円 (2022 年)	管内観光地内で観光旅行者が支出した宿泊費、交通費、飲食費等の総計 [1人当たり観光消費額を県平均並みとする将来像を考慮し目標を設定]
-------------------------------	--------------------	--------------------	---



#### 4 安全・安心な地域づくり

道路ネットワークの整備や交通体系の利便性の向上、地域防災力の強化、保健・医療の充実等により、安全・安心な地域づくりを進めます。

##### 【現状と課題】

- ・諏訪地域は、中央自動車道、J R 中央本線等、交通の大動脈が結節する交通の要衝にありますが、北陸新幹線延伸やリニア中央新幹線整備などの新しい高速交通網への対応や、住民生活や産業を支える道路ネットワークの整備、地域公共交通の確保等が求められています。
- ・諏訪地域には軟弱な地盤が多く、南海トラフ地震防災対策推進地域等に指定されていることから、自然災害に備えた関係機関の連携体制強化や住宅・建築物の耐震化の促進、自助・互助・共助の意識付けなどにより、地域防災力を強化する必要があります。
- ・脳血管疾患や急性心筋梗塞の死亡率が高いことが諏訪地域の健康課題となっています。

##### 【取組内容】

###### ● 移動手段の確保

- ・国道 20 号バイパス建設に合わせたアクセス道路を含む道路網の構築と地域公共交通の確保に向けた取組を推進します。
- ・リニア中央新幹線長野県駅・山梨県駅へのアクセス手段等の検討と中央東線の利便性向上に向けた取組を推進します。

###### ● 安全・安心な暮らし

- ・治山・治水施設の整備、住宅の耐震化への支援や自主防災活動の強化に向けた啓発を推進します。
- ・健康づくりに対する意識や特定健診受診率の向上、食生活の改善に向けた信州 ACE プロジェクトを推進します。

##### 【達成目標】

指 標 名	現 状	目 標	備 考
住宅の耐震化率 (建設部調)	75.7% (2013 年度)	90.0% (2020 年度)	耐震化された住宅の割合 [長野県耐震改修促進計画 (第 II 期) をもとに目標を設定]
特定健診受診率 (長野県国民健康保険団体連合会調)	44.5% (2014 年)	60.0% (2022 年)	特定健康診査対象者数に占める特定健康診査受診者数の割合 (市町村国保分) [現状は「国保保険者における特定健診等結果状況報告書」、目標は厚生労働省をもとに設定]